







































21

CNNの学習

- ▶基本的には通常の誤差逆伝播法を用いる.
- プーリング層では、マックスプーリングの場合「最大値」 となった画素にのみ逆伝播する。平均値プーリングの場合、 誤差 δ の $1/M^2$ の値を逆伝播する。
- ■畳み込み層では通常の誤差逆伝播法をベースに、次のように異なった逆伝播を行う。
 - ▶フィルタ外への誤差の伝搬は行わない
 - ■フィルタ内の伝播は荷重が共有されているとみなす

10/19/2023

22

DNNで用いられる様々なテクニック

1. ミニバッチ学習

- 学習安定化のための手法
- 学習データが N 個与えられたとき
 - 一つのデータごとに重みを更新 … オンライン法
 - N個のデータで誤差を求め、誤差の平均値で重みの更新値を求める…
 バッチ法
 - N/t 個のデータで誤差を求め、誤差の平均値で重みの更新値を求める \cdots ミニバッチ法

2. DropOut

- ・ 学習の高速化+過学習の防止
 - 学習時にノード(+それに接続されている結合)を半分程度間引く

10/19/2023

23

DNNで用いられる様々なテクニック

3. データの正規化

- 学習を効率的にする
 - 入力の正規化
 - ミニバッチ毎に(活性化関数をかける直前の)出力の正規化 … バッチ正規化
- 層毎にノード間で値を正規化 … Layer normalization

4. 様々な最適化法

- 勾配降下法を工夫して学習効率を上げる
 - モーメンタム法, AdaGrad, Adamなど

10/19/2023

24

DNNで用いられる様々なテクニック

- 5. 転移学習(Transfer learning)
 - 別の(大規模)データで学習したネットワークを流用してファインチューニングする
- 6. 知識蒸留 (Knowledge distillation)
 - 別の(大規模)データで学習した大規模ネットワークの出力を 教師データとして、小規模ネットワークを学習する
- 7. 敵対的学習 (Adversarial training)
 - 学習したいモデルと、それを妨げるモデルを同時に学習することにより学習の精度を上げる

10/19/2023

